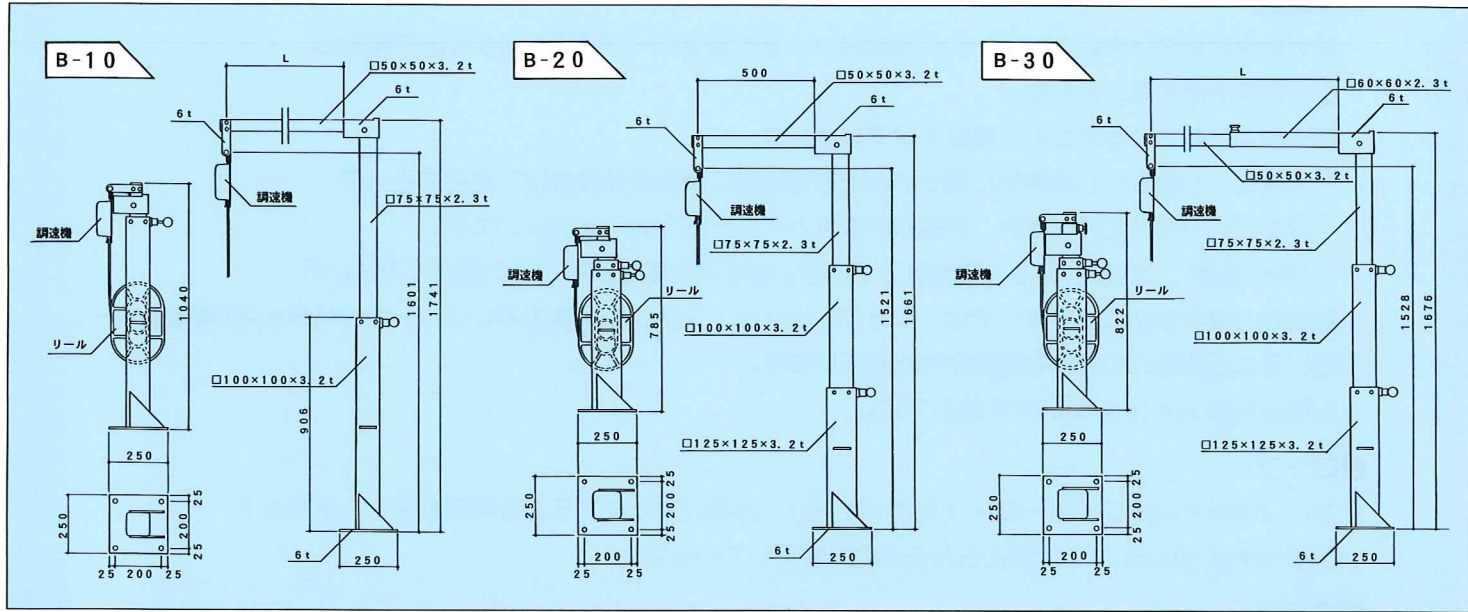
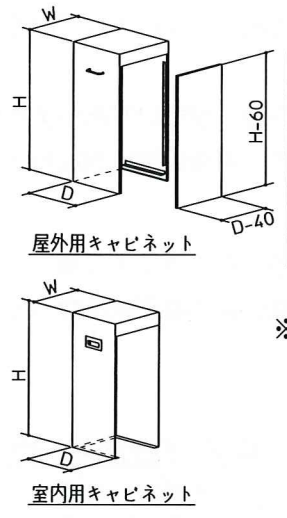


◎ 主な取付金具 (床面取付型)
主に固定式に使用



オートエース設置に関する注意事項

- 開口部
 - ・幅45cm以上の場合、高さ1m以上
 - ・幅50cm以上の場合、高さ80cm以上
- 操作面積
 - ・緩降機オートエースの操作に必要な操作面積は当該器具の面積を除き0.5m²以上です。(但し一辺の長さは60cm以上。)
- 降下空間の大きさ
 - ・オートエースが外壁面より15~30cmになる位置を中心とし半径0.5mの円柱形の範囲内であること。

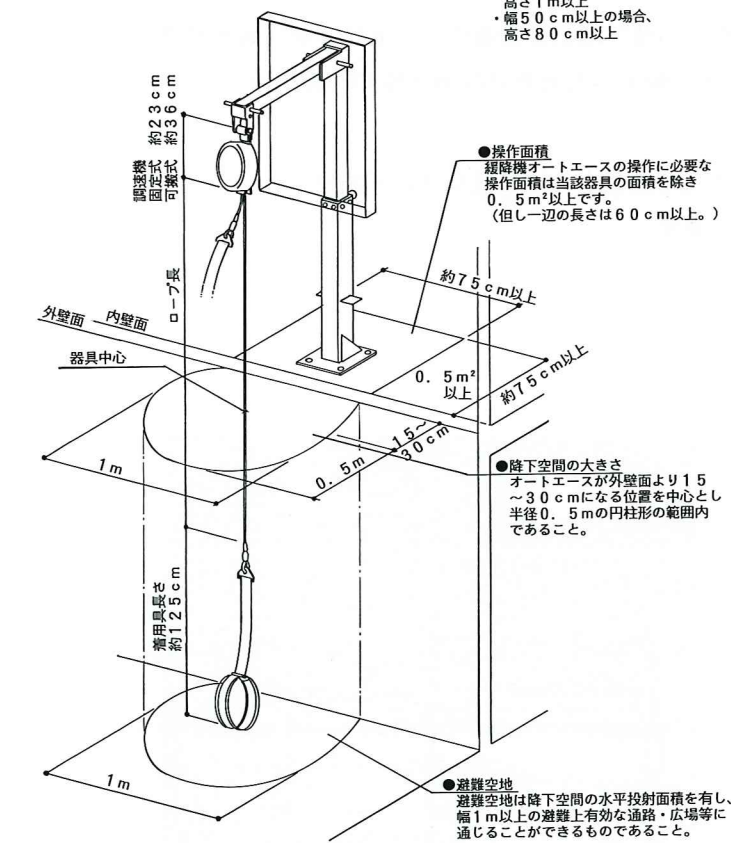


B型キャビネット寸法表

型番	室内用	屋外用
B-10	H1060xD350xW360	H1100xD380xW400
B-20	H800xD350xW360	H900xD380xW400
B-30	H850xD350xW360	H900xD380xW400
材質	ボンデ鋼板 メラミン樹脂焼付塗装	ボンデ鋼板 又は SUS304 メラミン樹脂焼付塗装
標準色	(社)日本塗料工業会 T22-90B	

※オートエースの取付金具は前記の壁付けA型金具・床付けB型金具を主体として、その他 様々な条件の建物に最も適した金具の設計・製作も致しております。

- オートエースの保守管理について
- 消防法 第17条3-3 により、消防設備士等の有資格者による定められた期間毎に点検を受けてください。
(外観点検及び機能点検は6ヵ月毎に、総合点検は1年毎に行います。)
 - 5年毎に、メーカーによる精密点検を受けてください。



上田消防建設株式会社
〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目7番28号
TEL.06 (6352) 0811
FAX.06 (6352) 6035
website: <http://www.uyeda-escape-chute.co.jp>

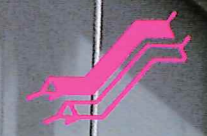
オートエース

避難器具
(緩降機)

LIFE-SAVING EQUIPMENT
AUTO-ACE



国家検定
型式承認番号
降第6~1号(可搬式)
降第6~2号(固定式)



上田消防建設株式会社

緩降機 オートエース

国家検定合格品 (降第6~1号・降第6~2号)

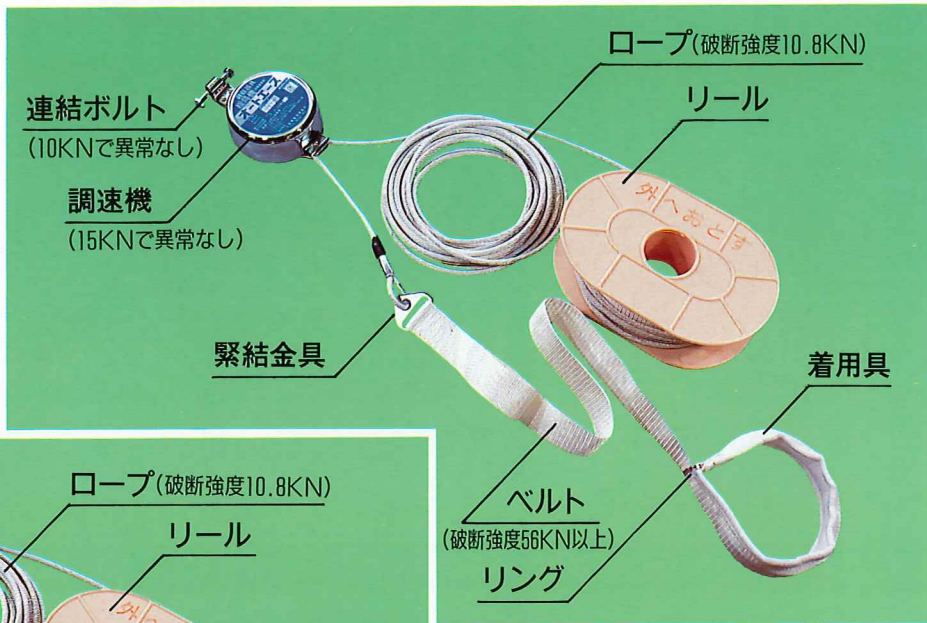
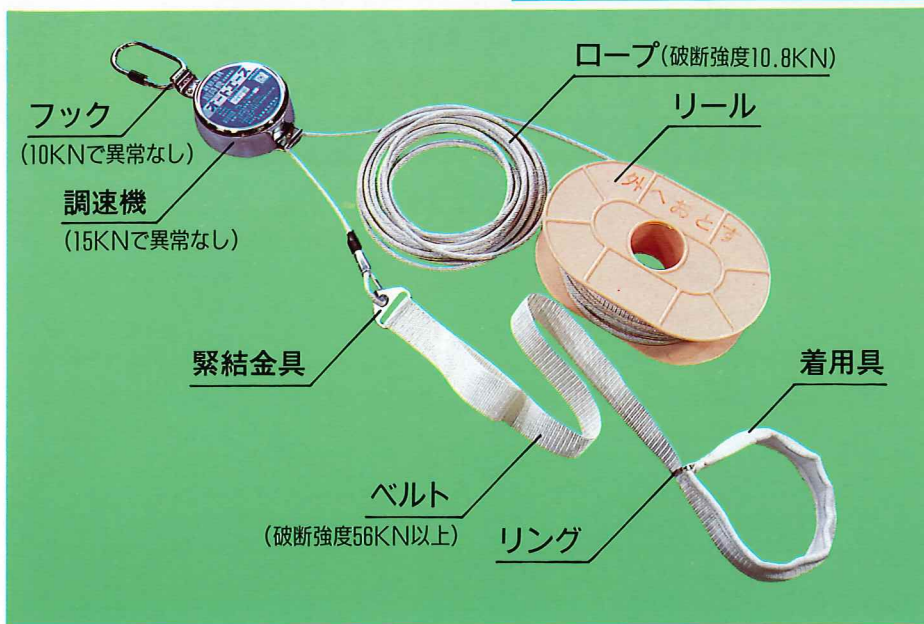
最大使用荷重：
1250N
ロープ長：
45mまで

緩降機オートエースとは、火災その他の緊急災害時に高所から避難脱出するための避難器具です。オートエースは遠心力ブレーキを内蔵した調速機を主体としたもので、調速機の中をロープ（芯は直径4mmのワイヤーロープで、ポリエステルにて金剛打したもの）が通過することで、降下速度が自動的に調整されるようになっています。そのため体重の軽重を問わず安全に降下できます。ロープの両端には着用具が緊結されており一方を使用して降下すると、他方が上がって次の降下者が降下できるようになっております。

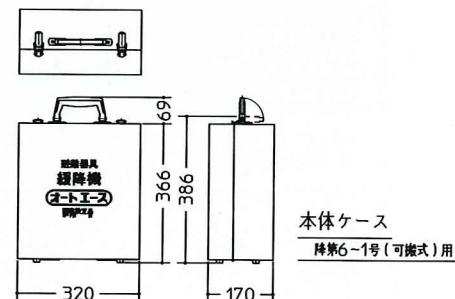
使用方法

- あらかじめ建物の床・壁にアンカーボルト等で固定された取付金具を操作します。（キャビネットを外し、アーム等を引き延ばすなど）
- 次に取付金具の先端に調速機を取付けます。（固定式の場合すでに取付けられていますのでその必要はありません。）
- 調速機から出ているロープの両端には着用具が緊結されており、その一方はロープと共にリールに巻かれております。使用の際はそのリールに巻かれた方を外へ落とし、その後もう一方の着用具により降下します。着用具の装着は避難者が着用具の輪になった部分に体を通し、脇から胸元あたりへくるように装着するだけでずれ落ちる事はありません。また、降下が始まると絶対に抜け落ちることはありません。
- 一方の人が着用具を装着し降下すると、下に落とした他方の着用具が調速機の方へ上がって来ますので、交互に1人ずつ降下できます。
- 両手で建物の壁と人体との間隔を保つようにしますと、スムーズに降下出来ます。降下の初めから終わりまでなんの衝撃もなく安全に避難できます。

オートエース 可搬式
(型式承認番号 降第6~1号)



オートエース 固定式
(型式承認番号 降第6~2号)



さらに品質と安全性・耐久性を向上したオートエースの特徴

● 調速機

最大使用荷重を従来の100kgから1250Nへ、また最大ロープ長さを45mまで実現し、さらに安全性を高めました。

調速機は可搬式・固定式の2種類を用意しました。

可搬式……あらかじめ建物に固定された取付金具に調速機を取付けて使用するもの。

固定式……取付金具に常時、調速機が取付けてあるもののことをいいます。

（取付金具につきましては各種用意してございますので建物に応じてお選びください。）

調速機の使用部品につきましては、シャフトはすべてステンレス製を用いブレーキは特殊合金（青銅系）を用いるなど品質にも十分な配慮がなされています。

引張強度は15KN以上の安全設計です。

● ロープ

芯には直径4mmのワイヤーロープを用いており、外装はポリエステル金剛打を施してあります。

引張強度は10KN以上に耐えられるものを使用しています。

● 着用具

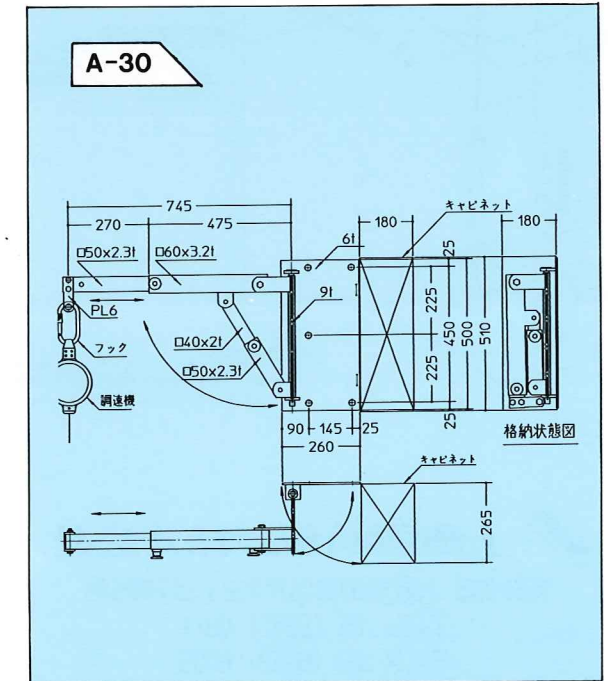
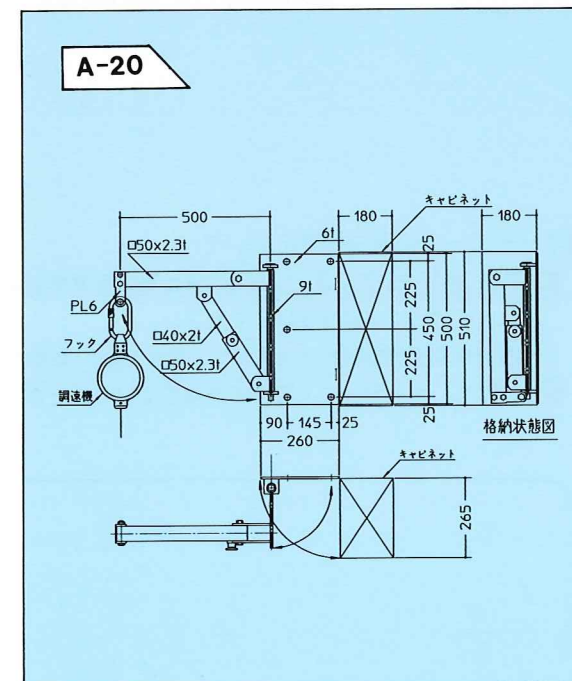
着用具は一部が輪状になっており、中に入っているスプリングによって装着した後の着用具のずれ落ちを防ぎます。

また輪になった部分はクッションがついておりますので、降下時の避難者のベルトによる圧迫を防ぎます。ベルトは幅52mm、厚み3mmで、引張強度は56KN以上に耐えられる十分な耐久性のあるものです。

● リール

リールは樹脂製で、投げ降ろしたときに人に当たっても安全なように軽量化されており、二次災害を防ぐため転がらないような形状になっています。

◎ 主な取付金具 (柱及び壁面取付型) 主に可搬式に使用



※調速機は別途格納